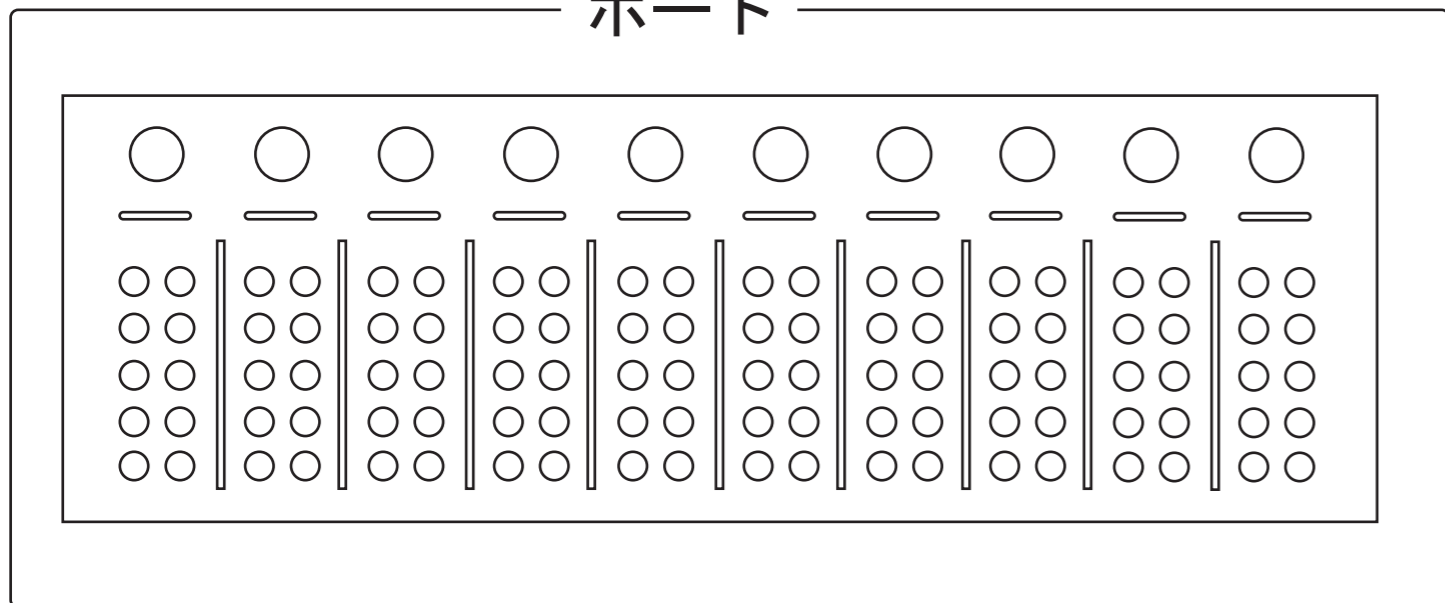


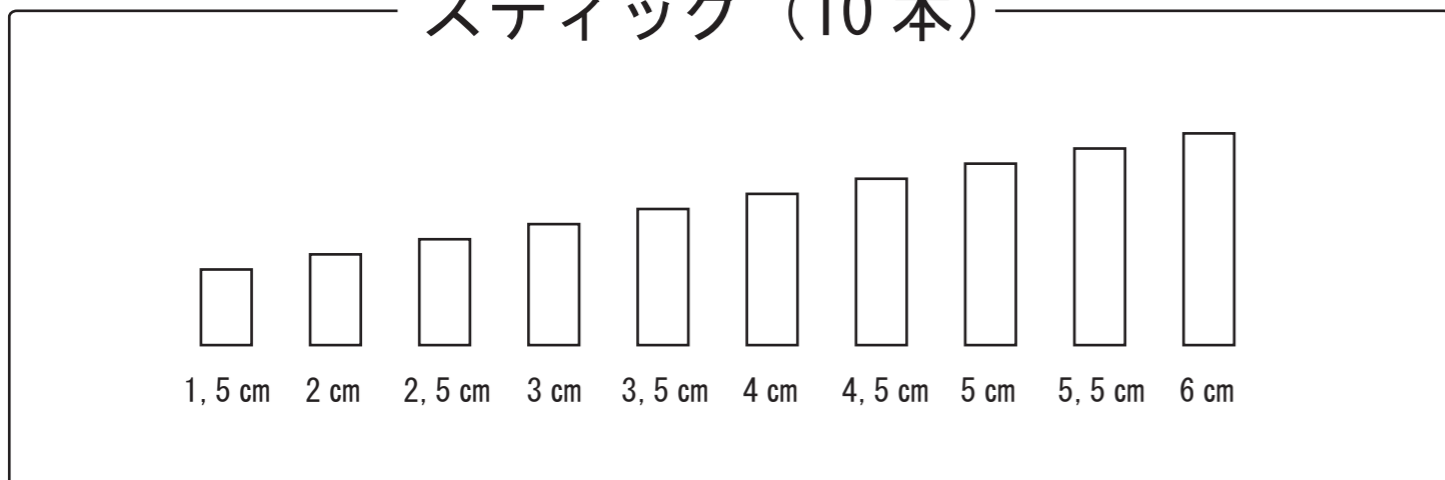
ヒノキ木製スティック&ボール

この知育具は、数の概念、跳躍性眼球運動、感覚、空間認識などが含まれた知育具です。

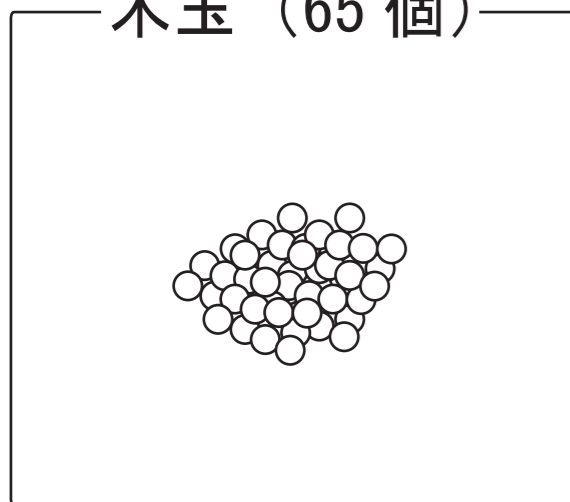
ボード



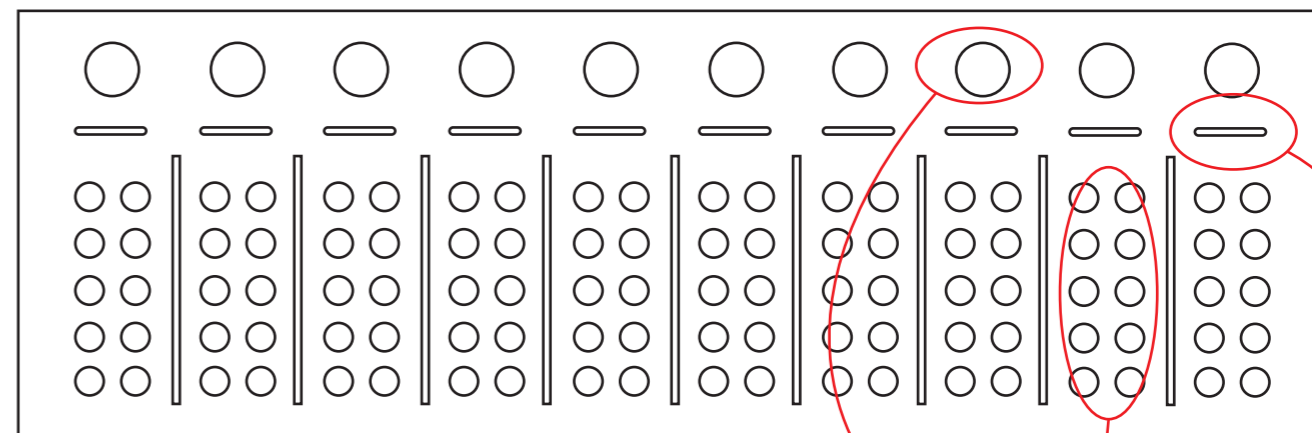
スティック (10本)



木玉 (65個)



数字プレート (10枚)



使い方

例1)

- 1、短いスティックから順番に長いスティックになっていくように療育者が子供の目の前で説明しながらスティック溝に入れてください。
この時ふたつのスティックを比べながら「こっちが短い」「こっちが長い」「こっちが大きい」など色々な表現の言葉で語りかけてあげてください。
 - 2、並べ終わったら「これが長さ(大きさ)の順番ね」と声をかけ、並べ方を視覚でおぼえさせてください。
 - 3、続けて、子どもにならべさせて下さい。子どもが並べ終わるまで静かに見守ってあげて下さい。
 - 4、並べ終わったら間違えているところはヒントを与えて自発的に直せるように誘導してあげてください。
 - 5、最後に出来たらめいっぱい褒めてあげて下さい。
- 以上で長さ、大きさ、順序を学ぶことができます。少しの時間でも毎日続けることが大切です。

例2)

- 1、療育者が数字プレートを挿入溝にランダムにいれていきます。
- 2、入れ終わったら子どもに数字プレートと同じ数の木玉を備え付けの箸でつかんで木玉溝に数字通りに木玉を置かせていきます。
- 3、一枚の数字プレートの木玉を並べ終わったところで子どもに確認させてください。間違えていたら、そこで、間違いに気づかせてあげてください。
- 4、並べ終わったら最後に木玉を色々な数え方で一緒に数えてあげてください。
- 5、最後に出来たらめいっぱい褒めてあげて下さい。

例3)

- 1、子どもにスティックの窪みがある方を上にしてスティック溝に入れさせていきます。順不同の方が高低差がうまれてより効果があります。
- 2、スティックの窪みのある所に、木玉を箸でつかんで乗せていきます。
- 3、出来たらめいっぱい褒めてあげてください。

以上の内容をスプーンでも行ってみてください。より難易度が上がります。

知育具は使い方は様々です。療育者次第になりますので、色々な方法を考えてみてください。